

# 常任委員会の行政調査報告

5月に三つの常任委員会（総務、教育民生、建設産経）が行政調査を行いました。9月定例会で各常任委員会から報告書が提出されましたので、その概要についてお知らせします。

## 総務常任委員会

### 島根県安来市「5月26日」

#### ▼ふるさと納税

山陰地方は、ふるさと納税の先進地域であり、近隣の浜田市の寄付金額は全国5位、米子市は全国6位の実績がある。それに対抗すべくサービスの向上や特典の質の向上、品目の充実が求められている。

岩沼市でも27年度から重点施策の一つとしている。特産品の開発に努め、多くの寄付につながるよう行政と支援組織の体制づくりを図り、交流人口を増やして地域振興につながるよう取り組む必要がある。

### 鳥取県境港市「5月27日」

#### ▼市民活動センター

境港市は、市民活動団体の活動に対する支援を「境港市みなでまちづくり条例」で位置付けている。

岩沼市でも協働のまちづくりを考えると、本格稼働に向けた展開が必要である。ボランティア団体と市民活動団体が重複することも考えられることから、検討委員会などを設置して市民の声を反映すべきである。



安来市で調査する委員

### 島根県雲南市「5月28日」

#### ▼地域自主組織

雲南市の小規模多機能自治、地域自主組織は子どもから高齢者まで性別に関わらず、地域ならではの創意工夫による活動で将来も持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

岩沼市でも、人口減少、都市化現象で人間関係が希薄になり、町内会等の機能は低下し、地域社会が崩壊する可能性がある。町内会、老人会など既存の組織が機能充実を図り、各団体が連携を図ることが大切である。さらに地域自主組織を導入することにより、活動が異なるさまざまな組織が、地縁でつながり連携を深め、地域課題を自ら解決し、地域の振興、発展を図ることができると考える。

## 教育民生常任委員会

### 奈良県橿原市「5月20日」

#### ▼文化財保護

橿原市では、指定文化財の公開や博物館での展示、出前講座で、実際に本物の文化財に触れ、大切にすることを育んでもらうとともに、ほかの博物館と差別化を図り、文化財の有効活用に成功している。また、小学生などの学習にも役立ち、文化財保護の大切さを啓発することに成功している。

岩沼市では個人が所有している文化財等も含め、県内他自治体との文化財展示の在り方を（学び）工夫していくことも必要と考える。

### 奈良県大和高田市「5月21日」

#### ▼幼保連携認定こども園

大和高田市の認定こども園が早い時期の開園となった背景は、市立幼稚園と保育所が隣り合う敷地であったことである。幼保連携にさまざまな議論はあったが、市長の「幼稚園も保育所も子どもには一緒で、別にあることがおかしい」というトップダウンが強力な後押しになった。現段階で

は、保育士の人材確保に賃金の値上げなどで努力している。

### 和歌山県和歌山市「5月22日」

#### ▼高齢者福祉「つどいの家」

「エリカつどいの家」では講師を招き、折り紙教室、洋裁や手芸など複数の活動が行われている。26団体の活動にはカラオケ、麻雀、将棋や囲碁などがあり、高齢者に合わせ幅広く自由な活動に補助されている。高齢者が生きがいを持ち、引きこもりや活動量の低下などによる病気の予防にも効果が期待できると考える。

岩沼市では公民館、集会所、老人憩いの家などで少人数が集まれる場をつくる必要があると考える。今年度から始まる交流サロン推進事業は有効な活動となつてほしいと考える。



大和高田市で調査する委員